



# 御 礼

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2015」実行委員会

委員長 佐藤 五郎



昨年12月に採択された国連気候変動枠組み条約第21回締約国会議（COP21）、いわゆるパリ協定で我国は2030年までに温室効果ガスを2013年比26パーセント削減の約束草案を提出しました。つまり17年間で二酸化炭素換算で約3億7千万トン減らすことになります。これはリーマンショックによる景気後退と原子力発電の設備利用率向上の結果、過去10年間で最低の排出量であった2009年より更に2億80万トン余り減らす値です。これを達成するには多くの分野での技術革新と国民一人ひとりの覚悟が要求されます。さらに排出削減が順調に進んだとしても極端な気象現象の増大や地球上の様々な異変は、当面避けられそうもないでしょう。一朝一夕にならないことは当然ですが、最も大事なものは温暖化防止に向けた継続した取り組みです。

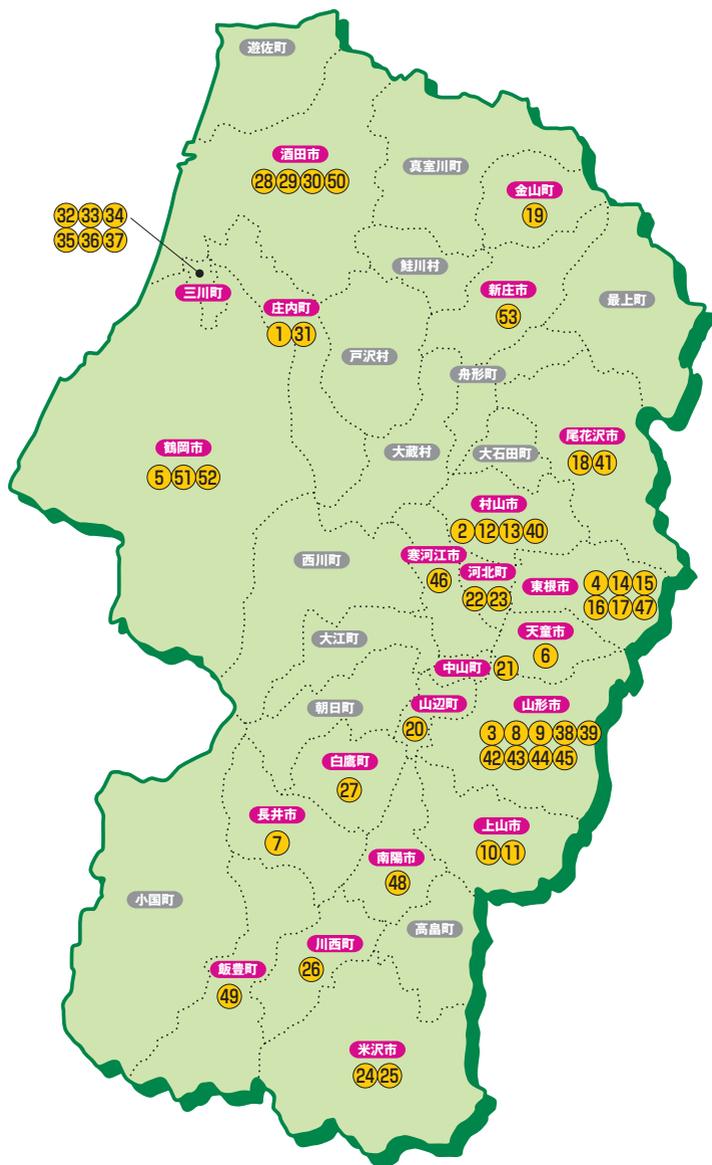
9年目を迎えた「エコカップやまがた」でも53件に及ぶ活動事例の応募を頂き、多くの方々の地道な努力と多岐に渡る工夫が報告され、人類が抱える最大の難問課題である温暖化防止に取り組む熱意が伝わってきました。むしろ、ある種の挑戦とも言えるものでした。実行委員会における度重なる検討会でも甲乙つけがたく7団体に最終プレゼンをして頂きました。この結果、再生可能エネルギーの一つである風力発電を全国に先駆けて取り組んだ庄内町において町民節電所を開設し温暖化防止とともに地域活性化に向けて努力してこられた庄内町地球温暖化対策協議会様を大賞として「低炭素杯2016」に推薦しました。そして2月16～17日に行われた東京でのプレゼンでは見事に「気象キャスターネットワーク最優秀地域・学校エコ活動賞」を獲得しました。これで山形県は3年連続の入賞を果たしたことになり、皆様方の日々の活動に敬意と感謝を表するとともに活動の継続を期待して御礼の挨拶とします。

## 【ストップ温暖化「エコカップ やまがた2015」実行委員会】

<委員長> 佐藤 五郎 (NPO法人 最上川リバーツーリズムネットワーク 代表理事)  
小谷 卓 (鶴岡工業高等専門学校 名誉教授)  
伊藤 哲哉 (株式会社山形新聞社 論説委員長)  
菅原 弘紀 (NPO法人 山形県自動車公益センター 専務理事)  
奥山 卓郎 (山形県環境エネルギー部 環境企画課長)

# エントリー団体マップ

～ どの市町村で活動しているのかな？ ～



※マップの番号と団体名は、「3・4ページ」に記載していますので、ご覧下さい。

# ストップ温暖化「エコカップ やまがた2015」

## 目次

実行委員長あいさつ、実行委員の紹介	1
エントリー団体マップ	2
目次	3～4
活動事例発表会、低炭素杯2016の様子	5～6
活動紹介	7～29
*各団体のページは、以下の一覧をご覧ください。	
共催団体の活動紹介	29
過去の「エコカップやまがた」大賞受賞団体	30

### 【活動内容一覧（全応募団体）】

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
発表 (受賞) 団体	「庄内町町民節電所」事業	庄内町地球温暖化対策地域協議会	庄内町	①	7
	希少植物の保全活動から始まる環境学習の展開 —エコ県民育成計画—	山形県立村山産業高等学校農業部 バイオ研究班	村山市	②	8
	下水汚泥をエネルギー源に ～バイオガスを利用した発電と熱利用～	山形市上下水道部浄化センター	山形市	③	9
	東根市学校版ISO「さくらんぼ環境ISO」事業	東根市学校版ISO「さくらんぼ環境ISO」	東根市	④	10
	～できることから始めよう～ 環境フェアつるおか事業	環境つるおか推進協議会	鶴岡市	⑤	11
	「振動エネルギー」を利用したイルミネーション ～次世代の再生可能エネルギーの取組み～	学校法人山形電波学園 山形電波工業 高等学校	天童市	⑥	12
	温泉熱発電システムの設計・製作～地域の熱源に目をむけて～	長井工業高等学校	長井市	⑦	13
行政・ 地球 温暖 化 対策 地域 協議 会	キャンドルスケープinやまがた	山形市	山形市	⑧	14
	環境や省エネルギーに配慮した取り組み	山形市消防署西崎出張所	山形市	⑨	14
	キャンドルナイト イン 上山城	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑩	14
	グリーンカーテンのモデル設置	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑪	15
	公共施設グリーンカーテン設置事業	村山市	村山市	⑫	15
	木質バイオマス利用拡大支援事業	村山市	村山市	⑬	15
	環境週間ひがしね	東根市	東根市	⑭	16
	家庭版環境ISO	東根市	東根市	⑮	16
	MBH運動	東根市	東根市	⑯	16
	リユース食器事業	東根市環境衛生組合連合会	東根市	⑰	17
	再生可能エネルギー設備導入事業	尾花沢市	尾花沢市	⑱	17
	役場新庁舎太陽光パネル設置事業	金山町	金山町	⑲	17
	住宅用太陽光発電システムへの補助	山辺町	山辺町	⑳	18
	住宅用太陽光発電システム設置補助金	中山町	中山町	㉑	18
生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業	河北町役場	河北町	㉒	18	

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
行政・地球温暖化対策地域協議会	太陽光発電システム設置補助事業	河北町役場	河北町	(23)	19
	住宅用太陽光発電システム設置事業費補助金	米沢市	米沢市	(24)	19
	～みんなで地球を守ろう！親子で学ぶ地球温暖化～ ソーラーカーづくり教室・環境講座	置賜地域地球温暖化対策協議会	米沢市	(25)	19
	川西町フレンドリープラザ雪冷房システム	川西町	川西町	(26)	20
	再生可能エネルギー設備設置補助事業	白鷹町	白鷹町	(27)	20
	住宅用再生可能エネルギー普及事業	酒田市	酒田市	(28)	20
	緑のカーテン事業	酒田市	酒田市	(29)	21
	廃食用油からのエコキャンドル作り	酒田市	酒田市	(30)	21
	「第18回全国風サミットin庄内」の開催	「全国風サミットin庄内」実行委員会	庄内町	(31)	21
	廃食用油（植物性）の集団回収とBDFへリサイクル	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(32)	22
	住民参加型「空き缶回収事業」	三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(33)	22
	巡回資源回収、資源リサイクルステーション及び資源ポストによる資源リサイクルの推進	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(34)	22
	町民へのゴーヤ苗の配布及び公共施設、各小中学校、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置	三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(35)	23
	・ゴミの分別、減量化による地球温暖化防止についての出前講座 ・廃プラスチック卓上油化装置を活用したエコ出前教室の実施 ・エコキャンドルづくりの出前講座	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、みかわ保育園・幼稚園、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(36)	23
住宅用太陽光発電システム設置補助	三川町	三川町	(37)	23	
NPO・団体等	環境出前教室（マイ箸作り）	NPO環境と食農研究会	山形市	(38)	24
	エコ普及推進活動	山形県サッシ・ガラス協同組合	山形市	(39)	24
	eeco(エコキャンドルナイトinむらやま	特定非営利活動法人 飯塚プラザネット	村山市	(40)	24
	ペレット灰による上の畑焼き糞の開発 リサイクル素材を活用した作品展やものづくり体験	おばなざわ匠の会	尾花沢市	(41)	25
企業等	TUYエコキャンペーン 地球温暖化防止&エコ番組 「山形エコプロジェクト えこいろ」 制作・放送	TUY 株式会社テレビユー山形	山形市	(42)	25
	環境にやさしい自動車販売・整備事業場	トヨタカローラ山形株式会社	山形市	(43)	25
	太陽光発電所を通じた低炭素社会の啓蒙活動	株みはらしの丘上山発電所	山形市	(44)	26
	太陽光発電システム 本店・小白川支店に続きアグリセンターに3基目を設置	山形市農業協同組合	山形市	(45)	26
	ノンフロン冷却設備の導入	日東ベスト株式会社	寒河江市	(46)	26
	環境製品の開発と普及活動および太陽光発電事業	株式会社山本製作所	東根市	(47)	27
	NDソフト・こもれびの郷プロジェクト	NDソフトウェア株式会社	南陽市	(48)	27
	バイオマス燃料の製造販売	中津川バイオマス株式会社	飯豊町	(49)	27
	ホテルでの節水によるCO <sub>2</sub> 削減	株式会社ホテルリッチ酒田	酒田市	(50)	28
	事業所での継続的な省エネ活動	株式会社JVCケンウッド山形	鶴岡市	(51)	28
	地域資源活用リサイクル事業 再生可能エネルギー普及・開発	株式会社渡電気土木	鶴岡市	(52)	28
学校	自然エネルギーを利用した植物工場の省エネルギー化	山形県立新庄神室産業高等学校	新庄市	(53)	29

# ストップ温暖化「エコカップ やまがた2015」 活動事例発表会

平成27年10月24日の活動事例発表では、書類選考にて選ばれた7団体の事例の発表がありました。多くの方のご参加をいただき、事例発表を聞いて参考になったという声が多数寄せられました。発表団体の皆様、ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

発表団体のうち、「庄内町地球温暖化対策地域協議会」に『エコカップ やまがた 大賞』が、「村山産業高等学校農業部バイオ研究班」に『エコカップやまがた 実行委員会特別賞』が贈られました。

## エコカップやまがた大賞

- ◎庄内町地球温暖化対策地域協議会(庄内町)  
「『庄内町町民節電所』事業」

## エコカップやまがた実行委員会特別賞

- ◎村山産業高等学校農業部バイオ研究班(村山市)  
「希少植物の保全活動から始まる環境学習の展開 — エコ県民育成計画 —」

## エコカップやまがた賞

- ◎山形市上下水道部浄化センター(山形市)  
「下水汚泥をエネルギー源に ～バイオガスを利用した発電と熱利用～」
- ◎東根市学校版ISO「さくらんぼ環境ISO」(東根市)  
「東根市学校版ISO『さくらんぼ環境ISO』事業」
- ◎環境つるおか推進協議会(鶴岡市)  
「～できることから始めよう～ 環境フェアつるおか事業」
- ◎山形電波工業高等学校(天童市)  
「『振動エネルギー』を利用したイルミネーション  
～次世代の再生可能エネルギーの取組み～」
- ◎長井工業高等学校(長井市)  
「温泉熱発電システムの設計・製作 ～地域の熱源に目をむけて～」



# 低炭素杯2016

## 庄内町地球温暖化対策地域協議会

### 【気象キャスターネットワーク最優秀地域・学校エコ活動賞】受賞

2016年2月16日(火)～17日(水)に、今回で6回目を迎える「低炭素杯2016」が東京で開催されました。

低炭素杯は、次世代に向けた低炭素社会の構築をめざし活動する全国各地の活動発表を通じて、連携の輪を広げていくものです。

低炭素杯2016では、全国からエントリーされた1,993団体のうち、厳しい審査を経て選ばれた38団体が、「企業部門」「学生部門」「地域エネルギー部門」「地域部門」の4つの部門別に、4分間のプレゼンテーションを行いました。

山形県からは、「エコカップやまがた大賞」を受賞し、山形県代表として推薦された「庄内町地球温暖化対策地域協議会」が出演し、活動を全国へアピールしました。

審査の結果、「気象キャスターネットワーク最優秀地域・学校エコ活動賞」を受賞しました。



低炭素杯2016の詳細は「低炭素杯2016」ホームページ

(<http://www.zenkoku-net.org/teitansohai2016/>)にてご覧いただけます。出場団体すべてのプレゼンテーション動画も公開されています。



庄内町

## 「庄内町町民節電所」事業

### 庄内町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ①]

平成5年庄内町(旧立川町)は農作物などに被害を被らせる悪風を何とか利用できないかと考え、日本の自治体の魁として風力発電の道を開きました。その後、庄内町の風車は増えて8基になり環境の町として定着してきましたが、「風車による発電だけでは片手落ちだ、電気を使う方も無駄なく使う事が大事なのではないか」と町民の心の中に節電の風が吹き、当時の任意団体「環境町づくり推進ネットワーク」を母体として平成15年「庄内町町民節電所」が立ち上がりました。

当時は毎年100世帯の参加者で始めましたが、組織も「庄内町地球温暖化対策地域協議会」となり、町村合併を期に毎年500世帯の募集に規模を拡大、6月の最終土曜日には源氏ボタルが飛び交うホテルの里でキャンドルナイトなども実施し、楽しみながら温暖化防止の啓蒙活動をしています。





村山市

## 希少植物の保全活動から始まる環境学習の展開 — エコ県民育成計画 —

山形県立村山産業高等学校農業部バイオ研究班 [マップ番号: ②]

平成17年より、希少植物オキナグサの保護・増殖活動に取り組んできた。県民を対象とした栽培や保護活動に関する講習会を年間約10回程度、開催しており、これまでに約1,100人が参加した。講習会では、オキナグサの栽培や保護だけでなく、河川環境の改善や地球温暖化の防止などの環境問題に関するクイズやプレゼンテーションなどを実施して、参加者の理解向上を目指している。

参加の前後で、参加者の環境保全意識の違いを調査し、十分な環境学習効果を示している。また、最上川沿いの遊歩道を用いたエコウォーキングなどを企画し、地域資源を活用した環境学習を行い、多様な環境学習の方法を提案している。さらに、山形市南山形地区では、地域の花として「オキナグサ」を選定し、住民と協力した苗づくりや植栽活動などを実施するとともに、住民に環境保全について啓発する活動を行っている。これらの活動は、オキナグサという希少植物を「きっかけ」として始まった環境保全活動であり、住民に環境保全に関する高い意識を持ってもらい、一人一人が希少植物の保護や地球温暖化の防止などについて正確な知識を持ち、行動できる「エコ県民」となることを目標としている。また、これらの方法は様々な動植物に適応できるとともに、誰もが実施可能な活動であることを目指しており、波及性・発展性についても十分に考慮した活動内容である。





エコカップ やまがた賞

山形市

## 下水汚泥をエネルギー源に ～バイオガスを利用した発電と熱利用～

山形市上下水道部浄化センター [マップ番号: ③]

山形市浄化センターでは、下水汚泥を嫌気性消化した際に発生するバイオガス(メタンガス)を使用し、燃料電池式発電機(100kW)4基による発電を行っています。

発電に加え装置から排出される熱を回収して、消化槽の加温等に利用するコージェネレーションシステムを導入することで、より一層の温室効果ガス排出削減をしています。

平成26年度実績では、場内で使用する電力の54.2%を燃料電池による発電でまかしていました。バイオガス発電と排熱利用により温室効果ガスとして1,763t-CO<sub>2</sub>の削減効果があったと試算しています。

また、発電した電力を電気料金に換算すると約5,000万円になり、維持管理コストの削減に寄与しています。





## 東根市学校版ISO 「さくらんぼ環境ISO」事業

東根市学校版ISO「さくらんぼ環境ISO」 [マップ番号: ④]

市内全小・中学校（小9校・中5校）で学校教育の一環として環境保全活動に積極的に取り組んでいます。取り組み事項については共通項目（省エネ・省資源・リサイクル）と学校や地域の特色を生かした独自項目に分かれ、児童・職員が一体となって取り組んでいます。

取り組み内容については、PTAが審査員として評価を与えています。取り組みによって削減できた経費の半分は学校予算に配分しています。活動内容については年1回、「環境週間ひがしね」の中で代表校による発表会開催し、実施内容の交流をしています。また、招聘講師によるアドバイスを各校に持ち帰り、新しい取り組みを試みています。





## ～できることから始めよう～ 環境フェアつるおか事業

### 環境つるおか推進協議会 [マップ番号: ⑤]

『環境フェアつるおか』は、市民が環境問題を身近に考え、「できることから始めよう」と行動するきっかけやヒントを見つける場として、平成11年度から毎年開催しています。地球温暖化防止や自然環境保全、省エネ節電をテーマに、市内の事業者や団体、行政が約60ブースを出展し、企業の取組みの紹介やエコカーの展示・試乗、工作体験、省エネ製品やエコライフの提案等を行っています。

回を重ねる毎に内容を充実させて来場者数を伸ばしており、17回目となる今年は、鶴岡市の合併10周年を記念し、地域のエコ活動の展示紹介やステージイベントの拡充を行い、4,400名の方に来場いただきました。

来場者アンケートでは、「日常生活での取組みの実践に役立っている」、「親子で楽しみながら学習することが出来た」等の評価を得ており、今後も本事業の更なる発展を目指していきます。





## 『振動エネルギー』を利用したイルミネーション ～次世代の再生可能エネルギーの取組み～

山形電波工業高等学校 [マップ番号: ⑥]

CO<sub>2</sub>排出量がゼロ(0)で、次世代の再生可能エネルギーとして期待され東京駅等で一部実用化されている『振動エネルギー』に着目し(株)音力発電(神奈川県藤沢市)が特許権を取得している発電床<sup>®</sup>を用いて学校に設置することを目標に教科「課題研究」の授業にてオリジナルシステム構成を行い製作しました。

発電床<sup>®</sup>からの振動を独自の蓄電器に蓄電を行い、その発電量をオリジナルLED表示で電圧を表示します。また、その発電量をPC(パソコン)でモニタリングすることも可能です。蓄電した電気は、高輝度LED仕様のイルミネーション照明で視覚的に感じることも出来ます。これらの機器は、東日本大震災で被災された宮城県石巻市立門脇小学校と交流して寄贈した製作物を活用しています。この活動は、自然にやさしいエコの取組みだけでなく“人と人”をつなぐ心の架け橋でも考えています。





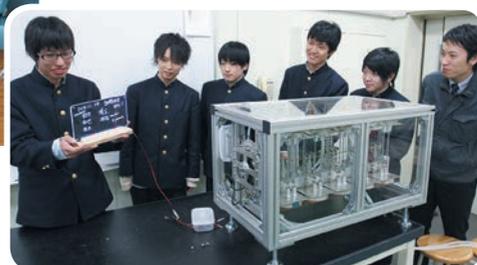
## 温泉熱発電システムの設計・製作 ～地域の熱源に目をむけて～

山形県立長井工業高等学校 [マップ番号: ⑦]

自然エネルギーには風力・太陽光・地熱など多くの種類があります。特に、発電と言えば風力・太陽光・水力が思い出されます。山形県には各市町村に温泉が存在しており、その温泉熱から発電をすることを目標に装置の製作・試験を行いました。当時、一般的には知られていない温泉熱利用の発電を試みることで、身近なエネルギーの存在を広く知って頂く機会となりました。

取り組みは校内にて部品加工・組立を行い、温度差で動作するスターリングエンジンと専用の発電機を完成させました。その後、地域の温泉施設に設置・検証する予定が、施設側の都合により実現せず、温泉を想定した温水を装置に流し検証を行いました。この活動は新聞や市の広報誌に取り上げられ、温泉施設や企業からの問い合わせを頂くなど、温泉県「山形」と「熱エネルギー」の存在を発信することができました。

平成23年に「低温度から有効なエネルギーを得る」をテーマに活動してきましたが、その間社会では温泉熱のみならずバイオマスなど広い分野にわたり再生可能エネルギーの利用が進んでいるため、現在は装置の簡略化や他の熱源への適応など検討し活動しています。



山形市

## キャンドルスケープinやまがた



山形市 [マップ番号: ⑧]

キャンドルスケープinやまがたは、国のライトダウンキャンペーンの一環として行われ、今年度で11回目を迎えました。電気の灯りを消して、ロウソクを灯しながらゆったりとした時間を過ごす中で、地球温暖化などの環境問題やライフスタイルについて見直すきっかけとなることを願い、山形市、学校、商店街等が各主体となって実施する環境啓発イベントです。

平成27年度は、山形市役所前会場の他、七日町御殿堰、山形まるごと館紅の蔵、山形まなび館、霞城公園前商店会、山形大学小白川キャンパス前広場で開催しました。

山形市

## 環境や省エネルギーに配慮した取り組み



山形市消防署西崎出張所 [マップ番号: ⑨]

消防署西崎出張所は、平成24年10月1日に設置されました。建物は免震構造で、敷地内には自家用給油取扱所、ヘリポート、自家用発電設備を備え、大規模災害の発生時には、災害対応の拠点として位置付けられる施設です。また、環境や省エネルギーに配慮した施設として、敷地内に最大限の緑地を確保し、建物の南側壁面上部には合計で90㎡のソーラーパネルを設置することで温室効果ガス排出量の削減に努めております。

上山市

## キャンドルナイト イン 上山城



上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑩]

公益財団法人上山城郷土資料館の協力のもと、上山市のシンボルでもある『上山城』を会場に行っている事業です。平成27年度は廃食用油を利用して作ったエコキャンドルを灯しました。館内では、小さいお子様からも楽しく理解していただけるような環境についてのスタンプラリーや家庭のアクションへの参加の呼びかけ、節電をテーマにしたイベントも含んだステージショーを実施し、来場者に地球温暖化防止を呼びかけました。

上山市

## グリーンカーテンのモデル設置



## 上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ①]

震災後、節電への取り組みが重要視されており、当協議会では冷房効果の向上が期待できるグリーンカーテンの普及を目的とした事業に取り組んでいます。市役所庁舎では庁舎壁面を借り受け、ネットを利用したアサガオ栽培の紹介を行っており、市内の「上山城」及び「生活介護事業所あゆも」の各施設において同様のモデル事業として、ゴーヤやフウセンカズラ等の栽培に取り組んでいます。

また、壁面やネットを設置することが難しい所においても簡単にグリーンカーテンを設置できるキット「どこでもグリーンカーテン」を市内の商店街や観光施設に配置しており、これらにより日差しを遮り、エアコンの使用頻度を減らし、省エネ効果でCO<sub>2</sub>を削減し、うれしい環境の創出など地球温暖化防止に取り組んでいます。

村山市

## 公共施設グリーンカーテン設置事業



## 村山市 [マップ番号: ⑫]

村山市では、夏季の省エネと地球温暖化防止のため、公共施設のグリーンカーテン設置に取り組んでいます。平成27年度は19施設でグリーンカーテンを設置し、暑い夏でも涼しく過ごせました。

また、ゴーヤなど実のなる植物を設置し、収穫の喜びも同時に楽しんでいます。

村山市

## 木質バイオマス利用拡大支援事業



## 村山市 [マップ番号: ⑬]

村山市では、再生可能エネルギーの普及促進を図るため、平成25年度から木質バイオマス燃焼機器（ペレットストーブ、まきストーブ等）を設置する個人および事業者に対し、補助金を交付しています。補助金額は補助対象経費の3分の1以内で、上限10万円です。

市民からの問い合わせも多く、再生可能エネルギーへの関心が高まっています。

東根市

## 環境週間ひがしね



東根市 [マップ番号: ⑭]

市民、事業所、行政が一体となって環境問題に取り組む事を目的に、平成17年度から実施しています。昨年までのホールでの講演会をメインイベントとする形式から、各イベントを回るブース形式へとリニューアルして実施しました。また、スタンプラリーやリサイクル自転車抽選会などの新たなイベントを実施し、昨年度を上回る約500名の来場者がありました。

東根市

## 家庭版環境ISO



東根市 [マップ番号: ⑮]

将来を担う子どもたちに環境負荷の少ない生活様式を身に付けてもらうため、家庭でできる環境にやさしい取り組みを行っています。

市内の保育所や児童センターの児童、幼稚園の園児を対象に、7月中に取り組む「節電」「節水」「ごみ減量化」などのエコな目標を立ててもらい、カレンダー方式のチャレンジ用紙の達成した日にシールを貼ってもらう取り組みを実施してもらいました。平成27年度は142名の方より参加いただきました。

東根市

## MBH運動



東根市 [マップ番号: ⑯]

できることから始める環境への取り組みとしてMBH(マイバッグ・マイ箸持参)運動を全市をあげて行っています。市内の大型スーパーなど9店舗と協定を結びレジ袋の有料化を実施しています。また、市職員におけるマイ箸持参運動や市商工会と協力して市内の小売店におけるレジ袋の削減運動、飲食店での塗箸の提供などの運動を行っています。

東根市

## リユース食器事業



東根市環境衛生組合連合会 [マップ番号: ⑰]

市内の町内会や子供会、学校等の団体が飲食物を提供するイベント等の事業を実施する際に、繰り返し使用できる飲食容器（リユース食器）を利用する費用を4万円を上限として、東根市環境衛生組合連合会が負担しています。その結果、ごみの発生抑制及びリユース意識の啓発を行い、ごみの減量化を図ることを目的としています。

尾花沢市

## 再生可能エネルギー設備導入事業



尾花沢市 [マップ番号: ⑱]

尾花沢市では、平成26年度より地球温暖化防止と資源循環型社会づくりを推進するため、家庭や事業所における再生可能エネルギー設備の導入経費に対して助成を行っています。初年度の補助実績は、太陽光発電設備が6件、ペレットストーブが6件、薪ストーブが5件となりました。豪雪地である当市では、太陽光発電設備よりも木質バイオマス燃焼機器が多く導入されており、今後もペレットストーブや薪ストーブの導入を中心とした再生可能エネルギー設備の導入を積極的に支援してまいります。

金山町

## 役場新庁舎太陽光パネル設置事業



金山町 [マップ番号: ⑲]

金山町役場新庁舎壁面に太陽光パネルを設置するとともに、災害時等に電気エネルギーの供給手段が断たれた際を想定して蓄電池を設置しました。災害時には、災害対策本部を

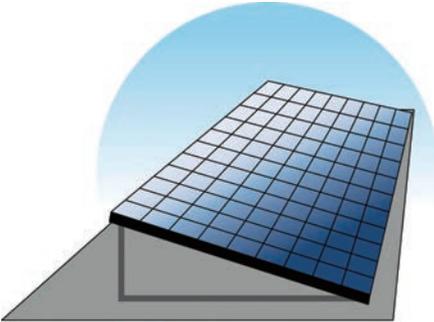
設置する際に使用する電力が確保できるようになります。

また、発電した電力は、通常時には役場庁舎内で使用することができるようになり、自然エネルギーを使用することでCO<sub>2</sub>排出量の削減につながります。

パネル出力 25.2kW 蓄電池容量 16.2kWh

山辺町

## 住宅用太陽光発電システムへの補助



山辺町 [マップ番号: ⑳]

地球温暖化防止対策として、クリーンエネルギーである太陽光を利用した住宅用太陽光発電システムを新設する方に対して3万円/kW(4kW上限)を助成し、環境に配慮したまちづくりを推進しています。

中山町

## 住宅用太陽光発電システム設置補助金



中山町 [マップ番号: ㉑]

中山町では、地球温暖化防止を推進し、太陽光エネルギーを利用した発電システムの普及を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する方に対して補助金を交付しています。

補助金の額は、1kW当たり30,000円で、上限120,000円です。

河北町

## 生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業



河北町役場 [マップ番号: ㉒]

地球温暖化防止のため、一般家庭でもごみ減量の役割が求められており、河北町では、一般家庭から排出される生ごみの減量化と堆肥化による再生利用を促進するために、生ごみ密閉式処理容器の購入に対し補助金を交付しています。

2基で1組とし、補助額は購入価格の2分の1以内の額(3,000円限度)です。

河北町

## 太陽光発電システム設置補助事業



河北町役場 [マップ番号: ⑳]

地球温暖化防止のため、一般家庭でも省エネ等の役割が求められており、河北町では平成23年度から太陽光発電システム設置費用の補助制度を設けました。平成27年度から町内の事業所への設置にも対象を拡大しました。対象は、町内の住宅及び町内の事業所に設置するもので、補助額は1kwあたり30,000円(4kw上限)です。

米沢市

## 住宅用太陽光発電システム設置事業費補助金



米沢市 [マップ番号: ㉒]

地球温暖化対策として、市内の住宅に太陽光発電システムを設置される方に補助金を交付します。補助金を交付することで、再生可能エネルギーの導入を支援し、家庭からの温室効果ガスの削減を図ります。補助金額は、1kW当たり10,000円(最大40,000円)です。

米沢市

## ～みんなで地球を守ろう!親子で学ぶ地球温暖化～ソーラーカーづくり教室・環境講座



置賜地域地球温暖化対策協議会 [マップ番号: ㉔]

太陽光発電の仕組みを学び、環境にやさしいエネルギーへの理解を深めるため、平成26年11月、南陽市においてソーラーカーづくり教室を開催し、22名が参加しました。

併せて、地球温暖化防止の大切さを理解してもらうため、環境講座を実施し、家庭でできる省エネ・節電アイデアなどを紹介して地球温暖化防止に向けた普及啓発を行いました。

川西町

## 川西町フレンドリープラザ雪冷房システム



川西町 [マップ番号: ②6]

川西町では、劇場や図書館などの大型複合施設「フレンドリープラザ」に、雪を使った冷房を導入しています。これは、雪国にとって“やっかいもの”であった雪を貯蔵し、夏に資源として活用するという古くて新しいシステムです。このシステムを導入したことにより年間約14

トンのCO<sub>2</sub>排出を削減しています。雪冷房システムの雪を貯蔵する貯雪庫は2棟あり、大きさは延床面積394平方メートル、軒高8.2メートルで、貯雪計画量は963トンとなっています。この給雪量で年間334時間の冷房能力があり、フレンドリープラザの冷房能力を十分確保しています。

白鷹町

## 再生可能エネルギー設備設置補助事業



白鷹町 [マップ番号: ②7]

白鷹町では、平成25年度より住宅における再生可能エネルギー利用の普及を推進し、地球環境の保全に寄与するため、再生可能エネルギー設備を設置する方に対して、補助金を交付している。平成27年度からは太陽光発電設備のほかに、木

質バイオマス燃焼機器（ペレットストーブ及び薪ストーブ）にも拡充した補助事業を実施している。

住宅用太陽光発電設備には太陽電池出力1kWあたり25,000円（上限金額20万円）、木質バイオマス燃焼機器には補助対象経費の3分の1（上限金額10万円）の補助をしている。補助実績は25年度が11件、26年度が6件である。

酒田市

## 住宅用再生可能エネルギー普及事業



酒田市 [マップ番号: ②8]

平成21年度より地球環境の保全に寄与するため、太陽光発電システムを設置する方に補助金を交付しています。同様の県の補助金の交付を受ける方も対象になります。補助額は、太陽電池の出力1kW当たり2.5万円、最大補助額は249,000円です。補助実績は、21年度が50件、22年度が45件、23年度が78件、24、25年度が74件、26年度が69件でした。

酒田市

## 緑のカーテン事業



酒田市 [マップ番号: ㊸]

平成20年度から省エネ・地球温暖化対策として市の施設に緑のカーテンを設置しています。平成26年度からは、より多くの市民や事業所の方からも取り組んでいただくためにゴーヤの種と育て方の手引を無料で配布しています。平成27年度は、個人の方（約450世帯）や事業者、

公共施設に約12,000粒配布しました。（平成22年度～25年度まではゴーヤの苗を配布していました）

酒田市

## 廃食用油からのエコキャンドル作り



酒田市 [マップ番号: ㊸]

平成23年度より、小学校の高学年を対象に、廃食用油を原料としたエコキャンドル作りを行っています。このエコキャンドルを夏至と七夕のライトダウンを行う際に使ってもらうことで、ゴミの減量化や省エネルギーだけでなく地球温暖化防止を含めた環境教育につながっています。平成27年度の参加人数は、10組25名でした。

庄内町

## 「第18回全国風サミットin庄内」の開催



【全国風サミットin庄内】実行委員会 [マップ番号: ㊸]

庄内町は、自治体初的大型風車の導入を行い、風力発電を推進した魁の町であり、第一回全国風サミットを開催した「風サミット発祥の地」でもあります。

風サミット発祥の地としてこれまでの風力発電や再生可能エネルギー導入の歴史を振り返り、地球規模での環境

保全や温暖化問題などグローバルな視点とエネルギーの地産地消や地域活性化などのローカルな視点をどう融合させてエネルギー問題を考えていくか、その中で自治体の役割は何なのか、各種課題を新たな視点で考え提言するとともに、再生可能エネルギーの更なる普及・啓発を目的として開催しました。

三川町

## 廃食用油（植物性）の集団回収とBDFへリサイクル



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、  
三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③②]

平成21年度から、各家庭の廃食用油（植物性）を各町内会で設置した回収ボックスにより回収しています。各町内会から回収された廃食用油は、事業所から回収された廃食用油とともに鶴岡市内の民間工場でバイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクルされた後、その一部を本町が所有するごみ収集車の燃料に再利用しています。そのことにより、ゴミ総量の減量や燃料費の削減が図られるとともに、町民の環境保全に対する意識啓発等に繋がっています。なお、平成26年度に各町内会から回収した廃食用油は586ℓで、ごみ収集車に給油したBDFは3,241ℓでした。

三川町

## 住民参加型「空き缶回収事業」



三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、各町内会、  
三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③③]

各家庭から出る空き缶を各町内会が設置した回収ボックスで分別回収することにより、ゴミ総量の減量とCO<sub>2</sub>の削減、環境保全の意識啓発を図りました。平成26年度は、アルミ缶が6.0t、スチール缶が4.3t、合計で10.3t回収しました。また、町立の横山小学校、東郷小学校、押切小学校の3小学校で実施している空き缶回収では、平成26年度にアルミ缶1.1t、スチール缶0.3t、合計1.4tを回収することができました。

三川町

## 巡回資源回収、資源リサイクルステーション及び資源ポストによる資源リサイクルの推進



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、  
三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③④]

各家庭から出る資源ごみを巡回資源回収や町公民館前に設置した資源リサイクルステーション及び資源ポストで回収することにより、ゴミ総量の減量とCO<sub>2</sub>の削減、資源リサイクルの意識啓発を図りました。

平成26年度は、巡回資源回収を210日実施し、資源リサイクルステーション及び資源ポストを51日開所しました。その結果、巡回資源回収では計39.2t、資源リサイクルステーションでは計60.1t、資源ポストでは計7.9t、合計で107.2t回収することができました。

三川町

## 町民へのゴーヤ苗の配布及び公共施設、各小中学校、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置



三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③⑤]

希望する町民へゴーヤ苗の無料配布（67世帯と2事業所、318ポット）及び公共施設等へのグリーンカーテンの設置（役場等の公共施設3ヶ所、各小中学校4ヶ所、みかわ保育園・幼稚園の計8ヶ所に計100ポット）を行いました。町民にグリーンカーテンの設置を奨励するとともに、公共施設や学校等へグリーンカーテンを設置し、室内温度の上昇防止によるエアコン等の稼働抑制が図られ、CO<sub>2</sub>の削減、地球温暖化防止の意識啓発に繋がっています。

三川町

●ゴミの分別、減量化による地球温暖化防止についての出前講座 ●廃プラスチック卓上油化装置を活用したエコ出前教室の実施 ●エコキャンドルづくりの出前講座



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、みかわ保育園・幼稚園、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③⑥]

町内会の集会で家庭から出るゴミの分別、ゴミ総量の減量とCO<sub>2</sub>の削減、環境保全についての出前講座を開催しています。

また、今年度も引き続き、みかわ保育園・幼稚園に出向き、廃プラスチック卓上油化装置の実演による環境保全の意識啓発を行う出前教室を実施する予定です。

三川町

## 住宅用太陽光発電システム設置補助



三川町 [マップ番号: ③⑦]

一般家庭での省エネ、新エネルギーの導入を積極的に進めるため、平成26年度より太陽光発電システム

設置費用の補助制度を行っています。国の制度で同様の補助金を受ける方も対象になります。補助金の額は、1kWあたり30,000円（上限120,000円）です。平成26年度の補助金交付件数は17件で、太陽光発電設備最大出力合計では87kWでした。

山形市

## 環境出前教室(マイ箸作り)



NPO環境と食農研究会 [マップ番号: ③⑧]

各地域の行事や小学校の学年行事などで環境出前教室(マイ箸作り)を開催しています。環境出前教室では、割り箸や森林伐採による環境への影響、地球温暖化のお話、自作絵本「ゆうたとおはし」の読み聞かせ、オリジナルマイ箸の制作を通じて、マイ箸利用を子供たちやその親御さんに啓蒙しています。

平成27年度は7回開催し、577名の方に参加いただきました。

山形市

## エコ窓普及推進活動



山形県サッシ・ガラス協同組合 [マップ番号: ③⑨]

エコ窓推進を柱にモデル事業として山形市の学校へ断熱窓を寄贈し、また展示会でのPR活動などを行い積極的に活動しております。消費者がより環境負荷が少ない製品を適切に選ぶことができるように知識・情報を提供し地球環境の保全に努めております。毎年環境マイスター研修を実施してより専門知識を得よう活動しております。窓の断熱の重要性を広めていくことで温暖化防止へ貢献できるんだという意識をもってもらいたく、消費者へのPR活動を進めております。

村山市

## エコキャンドルナイトinむらやま



特定非営利活動法人 藍葉プラザネット [マップ番号: ④①]

この事業は今年で6年目となります。物の再利用によるゴミの削減をはじめ、地球温暖化や環境保全に対する学習のきっかけとし、長く継続していくことが重要だと思っています。村山市内7つの小学校の3年生を中心に、エコキャンドルづくりを行いました。5月30日に子ども達が自らの作ったメッセージ付きのエコキャンドルに火を灯し、改めて地球環境保全の大切さをPRしました。

尾花沢市

### ペレット灰による上の畑焼き釉薬の開発 リサイクル素材を活用した作品展やものづくり体験



#### おばなざわ匠の会 [マップ番号: ④]

私たちは2010年12月に結成した、尾花沢を拠点にして活躍する作家集団です。積極的に地元資源を活用した新たな産業起しに英知を結集し、多方面に尾花沢の特技を発信しています。

この度、やっかいものペレット灰や、蕎麦殻を再利用して上の畑焼きの釉薬として利活用し、新たな作品の風合いを出すことに成功しました。地域にある大切な資源をとことん使って、美しく、凛々しく、厳しく、温かく、自分自身の技を、そして人間性を高めるべく活動をしています。

山形市

### TUYエコキャンペーン地球温暖化防止&エコ番組 「山形エコプロジェクト えこいろ」制作・放送



#### TUY 株式会社テレビユー山形 [マップ番号: ④]

TUYでは、長期的キャンペーンとして、弊社の情報番組やニュース番組、キャンペーンスポット放送を通して「エコ&地球温暖化防止」の啓発活動を展開していますが、更に新鮮で身近な情報を県民に伝えるために、エコと地球温暖化防止

のレギュラー番組「山形エコプロジェクト えこいろ」を立ち上げ、2009年6月から放送しています。毎週月曜の夜6時54分から放送の4分間の番組で、毎回一つのテーマを設け、県内で取り組まれている大小様々なエコ活動や温暖化防止に関連する情報を中心に紹介しています。県民一人一人のエコへの関心が身近なものとなり、その取り組みが普通の生活の中から自然に生まれることを目指し、身近な目線で番組をつくっています。

山形市

### 環境にやさしい自動車販売・整備事業場



#### トヨタカローラ山形株式会社 [マップ番号: ④]

国土交通省「環境に優しい自動車販売店・整備事業場」認定に挑戦し、05年に全店が「全国初」となる「認定表彰」を受ける。「環境マイスター」の認定者数は県内最多であり、エコドライブ教室や小学校5年生を対象に「日本の自動車産業と環境」の課外授業を開催。その他、無料でタイヤ空気

圧調整を行ったり、ペットボトルキャップ回収を積極的に行い、「世界の子供たちへのポリオワクチンの提供活動」、「リサイクルによるCO<sub>2</sub>削減活動」を行っている。また、本社社屋に大規模な太陽光発電(40kW)を設置、城北店・天童店・新庄店には廃油ポイラーによる「無散水消雪設備」を導入している。

山形市

## 太陽光発電所を通じた低炭素社会の啓蒙活動



(株)みはらしの丘上山発電所 [マップ番号: ④4]

平成25年12月の運転開始からの累計発電電力量は274万kwh、CO<sub>2</sub>削減量は855,089kg-CO<sub>2</sub>となっており順調に発電実績を伸ばしております。また、当発電所の建設時に排出された間伐材からできたウッドチップを様々な用途で活用しています。敷地内へ散布することによる防草、また併設するウォーキングコースへの散布により訪れて下さる方々の足腰に優しく歩きやすいコースに整備されております。また同コースには木製ベンチも完成しました。みはらしの丘から望む雄大な蔵王の山々とクリーンで地球に優しい発電システムの融合をこれからも様々な形でご紹介させていただきたいと考えております。

山形市

太陽光発電システム  
本店・小白川支店に続きアグリセンターに3基目を設置

山形市農業協同組合 [マップ番号: ④5]

地域に向けて発信して行きます。  
JA山形市の太陽光発電システム

JA山形市の太陽光発電システムは3基合計で年間162,600kwhを発電します。これは一般家庭の消費電力量の約50世帯分に相当します。また、石油に換算すると18Lポリタンク2,050本分、36,900Lに値します。これからも環境保全・再生可能エネルギーの普及という社会的要請に答え、

本店ビル	平成21年12月稼働	出力 40kw
小白川支店	平成22年3月稼働	出力 12kw
アグリセンター	平成25年12月稼働	出力 117kw
		合計 169kw

寒河江市

## ノンフロン冷却設備の導入



日東ベスト株式会社 [マップ番号: ④6]

日東ベスト(株)山形工場に設置する冷却設備の冷媒を、代替フロンに替えて、温暖化係数の小さい自然冷媒を使用します。

このことにより、冷媒漏洩時の環境への影響低減、並びにエネルギー使用量の低減によるエネルギー起源の二酸化炭素排出量の削減が可能となります。

本事業は、下記の二つの補助事業の交付を受けて行っています。

【補助事業名】

- 経済産業省：ハンバーグ製造設備として「平成26年度代替フロン等排出削減先導技術実証支援事業」
- 環境省：ハムカツ製造設備として「平成26年度二酸化炭素排出抑制対策事業の省エネ型ノンフロン整備促進事業」

東根市

## 環境製品の開発と普及活動および太陽光発電事業



## 株式会社山本製作所 [マップ番号: ④7]

農業機械メーカーとして灯油・電力をユーザー段階で削減できるよ  
う、遠赤外線発生装置を搭載した穀物乾燥機を1999年いち早く発売  
し、従来型乾燥機と比べ灯油消費量を10%、電力消費量を30%削減  
することに貢献している。またリサイクルの難しい発泡スチロールを焼

却しないで再資源化する廃発泡スチロール減容機ならびに山の間伐材や未利用の廃材を熱源として再利用するためのペレット  
ストーブ、ハウス暖房機等を発売し、再生可能エネルギー利用に資する環境製品メーカーとして貢献を続けている。また、自  
らの敷地内にある野球場を転用し、2013年7月より年間50万kwhの発電能力を有する太陽光発電設備として稼働させ、さ  
らに工場屋根に年間140万kwhの太陽光発電設備を増設、合計1.9メガワットの発電設備として2015年8月より稼働した。

南陽市

## NDソフト・こもれびの郷プロジェクト



## NDソフトウェア株式会社 [マップ番号: ④8]

森林整備（下刈り/間伐/林内歩道作道/歩  
道整備/林地残材回収/薪づくり等）を中心  
に、南陽市と合同の地域交流イベントも開催しな  
がら、誰もが憩える里山を目指しています。

## ■活動内容

- ① 場所：南陽市上野 ハイジアパーク南陽の東側山林 約3ha
- ② 期間：(第一期) 平成23年4月～平成28年3月
- ③ 内容：森林整備全般および地域交流イベント

飯豊町

## バイオマス燃料の製造販売

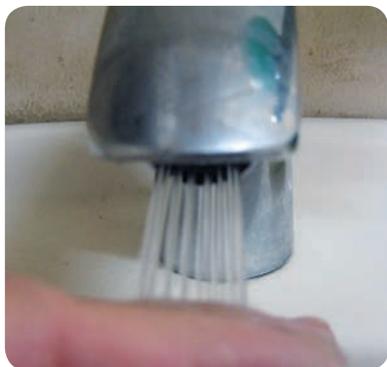


## 中津川バイオマス株式会社 [マップ番号: ④9]

平成21年11月に操業し、ペレットや薪の燃  
料等の生産を行っている。ペレットは、置賜地  
方のペレットストーブに供給。

ペレット300t/年の生産を目指している。ペ  
レットや薪を利用することは、ナラ枯れ防止、  
樹木の若返りを促しCO<sub>2</sub>の削減に寄与する。

酒田市

ホテルでの節水によるCO<sub>2</sub>削減

株式会社ホテルリッチ酒田 [マップ番号: ⑤0]

当社では、国際環境認証「グリーンキー」を観光施設では日本で初めて取得し、環境と健康に配慮したホテル作りを実践してきた。今回は、節水装置を客室や厨房など302箇所に取り付けることで、14.6%の節水を可能にし、CO<sub>2</sub>を943.5kg -CO<sub>2</sub>/年削減した。

鶴岡市

## 事業所での継続的な省エネ活動



株式会社JVCケンウッド山形 [マップ番号: ⑤1]

工場全体の電力使用状況を把握し、製造フロアの再レイアウト、レイアウトに合わせたビニールカーテンでのゾーニングを進めると同時に、これまで使用していた床置型パッケージエアコンに代え天井エアコン化を2013年度より進めて来ました。2015年度は製造エアリアの天井エアコン10台に試験的にハイブリッドファンを装着し、空気の流れをつくり温度分布をならすことで空調負荷低減を図りました。また、エコドライブノーマイカーデーの取組みも積極的に実行しており、「エコドライブ推進モデル事業所」への登録やエコドライブ講習の受講、チャリ通隊による自転車通勤、徒歩通勤の実施を継続して行っています。

鶴岡市

## 地域資源活用リサイクル事業 再生可能エネルギー普及・開発



株式会社渡会電気土木 [マップ番号: ⑤2]

当社では、地元地域の黒松及び杉材間伐材等を原料とした木質ペレット燃料を年間約1,000t(平成26年度実績)生産し、地域に供給販売しております。化石燃料の代替燃料として各施設のペレットボイラー普及にも力を入れております。また広葉樹等の木質チップをリサイクル利用した臭いのしない各種プランター用土並びに土壤改良材、木質ペレットを利用する農業ハウス用ペレットストーブの開発販売、経験を生かした木質ペレットプラントの設計・施工と、環境に優しい事業展開を押し進めております。ものづくり推進事業として、厄介者である土砂が付着した伐根を洗浄してペレット燃料等に活用する、抜根洗浄機の開発もしております。マイクロ水力発電開発分野に於いて他社と共同で、産学官連携開発を実施推進しております。

新庄市

## 自然エネルギーを利用した植物工場の省エネルギー化



### 山形県立新庄神室産業高等学校 [マップ番号: ⑤3]

平成15年度に開校した本校に、全国でも例のない設備システムを持つ植物工場が導入された。太陽光や風力だけではなく、雪のエネルギーを冷房に取り入れたハイブリッドの制御・通信・栽培システムを持つ植物工場である。生徒に学習を通して技術を習得させるだけでなく、地域の環境や自然エネルギーにも目を向けさせ、地域に根ざした教育をするためである。

植物工場内の電源力として、太陽電池パネルと風車、工場地下内に雪室を設けるなど当地域の自然特性を生かしたクリーンなエネルギーを活用して農産物の水耕栽培を行うものである。運用から今年度で13年目を迎え、さらなる消費エネルギーを削減すべく、これまで使用してきたナトリウム球による栽培から、省エネ蛍光管を用いた栽培へと栽培方法の模索を続けている。

## 共催団体の活動の紹介

山形市

## エコドライブ普及推進事業

### 特定非営利活動法人 山形県自動車公益センター

「運転操作を見直し、簡単に取組めるエコドライブの普及推進」を目的とした「県内縦断エコドライブオリエンテーリング」も9回目、山形・羽黒を発着として合計150台・394名と多くの方よりご参加頂き、又「環境フェアつるおか・やまがた環境展」におきましては家族参加型エコドライブコンテストを実施、皆様とともに楽しみながら学ぶ・知ると言ったきっかけづくりの場として開催する等、両イベントとも認知度が高まって参りました。

エコドライブという言葉は定着・より継続的な実践が進む一方、近年、最新の自動車については自動運転等も含め、様々な技術革新が急速に進み、より安心安全・快適な環境を整備するべく努力を重ねておりますが、今私達ができる事は「みどり豊かな、そして人にも優しい山形」を保ち、次世代へ継承するべく努める事。一人一人の心がけ次第でより効果が表れるエコドライブ普及に向け、これからも「人とクルマと自然との調和を考える」をテーマに取組んで参ります。



# 過去のエコカップやまがた大賞受賞団体



2007年度

特定非営利活動法人アンプ  
(新庄市)  
「新庄中心商店街資源回収  
プロジェクト「ちょべっと」」



2012年度

山形県立山形工業高等学校  
環境システム研究会 (山形市)  
「リサイクルDEボランティア」



2008年度

山形県立置賜農業高等学校  
(川西町)  
「MOTTAINAIプロジェクト」



2013年度

山形県立東根工業高等学校  
(東根市)  
「続ける手作り太陽電池パネルと  
資源の有効活用～持続可能な  
まちづくりのために～」



2009年度

山形県立東根工業高等学校  
(東根市)  
「ものづくりプロジェクト  
～手作り太陽電池パネルから  
広がる世界のCO<sub>2</sub>削減～」



2014年度

株式会社滝の湯ホテル  
(天童市)  
「人と環境に優しい宿づくり」



2010年度

港屋商事株式会社 (河北町)  
「古紙回収を通じての  
環境保護活動」



2015年度

庄内町地球温暖化対策地域協議会  
(庄内町)  
「庄内町町民節電所」事業



2011年度

山形県立米沢工業高等学校  
(米沢市)  
「米エゼロエミッション  
プロジェクト」



「エコカップやまがた」ホームページでは、  
2007年度からの応募団体をご覧いただけます。  
<http://eny.jp/eco-cup/index2015.html>

エコカップやまがた

検索

# ストップ温暖化 「エコカップ やまがた2015」 活動事例集

【製作（主催）】

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2015」実行委員会

【共 催】

NPO法人山形県自動車公益センター

【後 援】

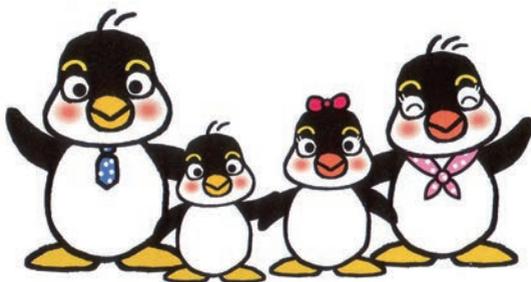
山形県、山形県教育委員会

【事務局】

山形県地球温暖化防止活動推進センター

【発行日】

平成28年2月19日



【本冊子についての問合せ先】

山形県地球温暖化防止活動推進センター  
(特定非営利活動法人 環境ネットやまがた)

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37

TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3389

E-mail eny@chive.ocn.ne.jp ホームページ <http://eny.jp>

※各団体の連絡先は、事務局（山形県地球温暖化防止活動推進センター）までお問い合わせください。